

K S K

兎
さ
電

第 99 号

編 集	横浜市障害者地域作業所連絡会
編 集 者 行 日	谷 口 実
編 集 者 行 日	2019年7月7日
編 集 者 行 日	

まずは雨天での延期になり申し訳ございません。順延になったのにも関わらず沢山の方々に参加して頂き、誠にありがとうございます。

当日は天気もどんよりしていましたが山下公園の熱気は天気も寒さも打ち消す勢いでした。

今回のアンケートを取らせて頂きご協力感謝いたします。配信数169に対して64か所回答がございました。(3ページ)

当日の参加29か所、雨天順延で不参加20か所、不参加15か所の回答でした。参加できない理由の多くが同行の職員が確保出来ない、他の行事が重なっている、外出が難しい利用者さんが多いとの回答でした。

開催時期につきましては寒い、などの意見もありますが、障害者週間を知ってもらうにはこの日程

で良い、と賛成が多くのご回答でした。

開催場所は半数が例年通りで良いとの回答です。横浜公園での開催が本来ならば横浜市役所にも近く望ましいのですが、東京五輪のため横浜スタジアムの拡張があり困難となっております。

雨天順延に関しましては、日程を2日確保することにより同行職員の問題があるとの回答がございました。アンケートの回答を参考に今年度の開催日を考えていききたいと感じております。

全体の進行時間は過半数が適当とのご意見を頂いております。

市長への手紙、議員へのハガキにつきましては是非市長に来ていただきたい、当事者の声を届ける良い機会を、引き続きお願いしたいとの多くの意見がございました。

今後につきましては役員一同市長の参加、議員の参加をアプローチして参加して頂けるように努力していきますのでお願い致します。

アピール方法はインスタグラムの活用、SNSを活用して多くの市民の方々に伝えられるように情報の発信を考えていきます。



会員のみなさまに集いの意味のご説明が不十分とのこと指摘もございましたので今後の課題とし、しっかりとしたお伝えが出来ればと感じております。

アンケートにつきましては本当に色々な意見があり、今後の集いのあり方、考え方を学ばせて頂く良い機会となりました。皆様方には本当に感謝しております。ありがとうございます。

(4ページへ)

2019年度

地域作業所連絡会総会

去る5月28日、午後1時半より、横浜ラポール二階大会議室において、障害当事者も含め多数の参加のもと、2019年度の総会が開催されました。

開会のことは なかむら いづみ
 会長あいさつ 谷 口 実
 来賓あいさつ

障害福祉部障害支援課在宅支援長 黒 米 建 一

横浜市社会福祉協議会
 障害者支援センター
 センター長 森 和 雄

新作業所紹介
 議事

- 一、2018年度事業報告
- 二、2018年度会計報告
 監査報告
- 三、2019年度事業計画案
- 四、2019年度予算案
- 三、四、ともに成立
- その他 お知らせ 閉会

令和元年度 事業計画

横浜市障害者地域作業所連絡会

実施時期	担当部会	事業内容	
4 15	役員会/事務局	30年度事業報告・令和元年度事業計画案について	
5	16	役員会/事務局	令和元年度第1回役員会議 総会準備/役員配置 ブロック懇談会準備等
	28	定期総会/研修会	30年度事業/会計報告、令和元年度事業計画/予算承認、新役員承認 他 研修会「障害者権利条約をめぐる世界の動向と日本の取り組み」 講師：佐藤久夫氏
6	1~17	研究部/単位ブロック	ブロック会議(テーマ「当事者、家族、支援者が今、求めていること」)
	下旬	研究部	要望書案作成(ブロック会議まとめに基づき)(第1回 6/18・第2回 7/2・第3回 7/10・第4回 7/16)
7	18	役員会/事務局	令和元年度予算要望書案について他
	23	定例会	令和元年度予算要望書案について他《研修会》『法定事業移行後の運営状況実態調査2019』集計結果の経過報告
	31	研究部/役員会/事務局	令和元年度予算要望書作成・提出・懇談会
8	21~26	各作業所/事務局	第44回 ふれあい作品展(高島屋)…市作連後援事業
	下旬	広報部	「兎と亀」99号発行
9	3~29	各作業所/事務局	地域作業所手作り製品フェア(有隣堂)…市精連共催
	12	役員会/事務局	予算要望書提出の報告「集い」・第1回実行委員会
	24	定例会	要望書提出報告・「集い」計画案他《研修会》
10	初旬	各区作業所	啓発キャンペーン(赤い羽根募金)
	中旬	役員会/事務局	障害福祉の未来を考える集い第2回実行委員会
11	中旬	役員会/事務局	障害福祉の未来を考える集い第3回実行委員会
	下旬	定例会	「障害福祉の未来を考える集い」について《研修会》
12	上旬	「集い」実行委員会	拡大実行委員会(スタッフ準備)
	5	「集い」実行委員会	第28回「障害福祉の未来を考える集い」
1	29	研修部	当事者研修会“D-1 グランプリ”ラポールシアター
2	中旬	定例会/三連絡会	令和2年度予算概要説明(健康福祉局)
	未定	各作業所/事務局	地域作業所手作り製品フェア(有隣堂)…市精連共催
	下旬	広報部	「兎と亀」100号発行
3	上旬	研究部会	令和元年度の振り返り・2年度の活動計画検討
4	中旬	役員会/事務局	令和元年度事業報告・2年度事業計画案等について

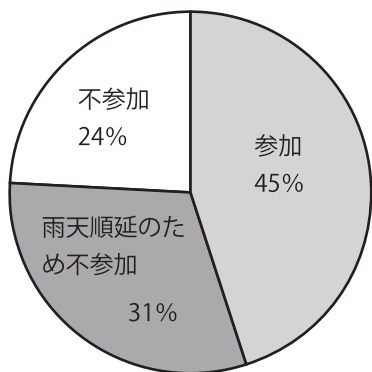


タイトル
「仮面ライダージオウ」

みどり福祉ホーム
川野啓地

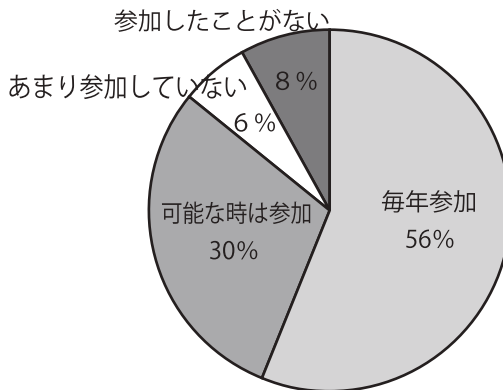
「集い」アンケート回収結果

■今年の「集い」に参加しましたか？



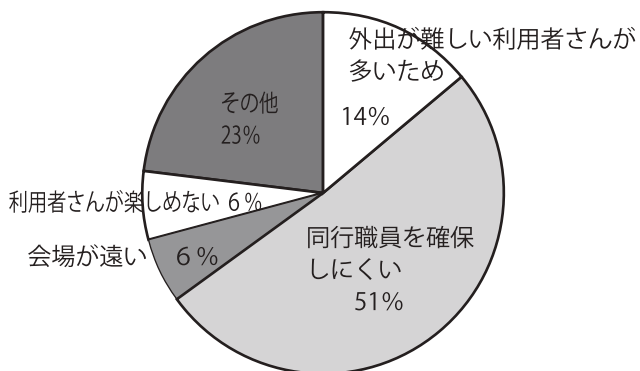
参加・・・・・・・・・・・・・29
 雨天順延のため不参加・・・・・・20
 不参加・・・・・・・・・・・・・15

■昨年まではいかがでしたか？



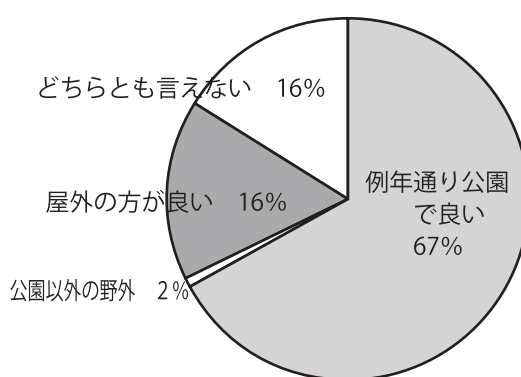
毎年参加・・・・・・・・・・・・・36
 可能な時は参加・・・・・・・・・・・・・19
 あまり参加していない・・・・・・・・・4
 参加したことがない・・・・・・・・・5

■参加できない場合の理由は？



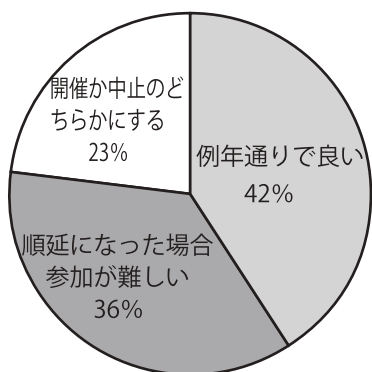
外出が難しい利用者さんが多いため・・・・・・7
 同行職員が確保しにくい・・・・・・・・・25
 会場が遠い・・・・・・・・・・・・・3
 利用者が楽しめない・・・・・・・・・・・・・3
 その他・・・・・・・・・・・・・11

■開催場所について



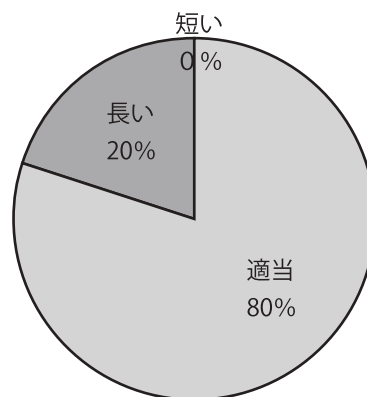
例年通り公園で良い・・・・・・・・・・・・・56
 公園以外の野外・・・・・・・・・・・・・1
 屋内の方が良い・・・・・・・・・・・・・13
 どちらとも言えない・・・・・・・・・・・・・13
 具体的な場所があれば

■開催場所について



例年通りで良い・・・・・・・・・・・・・28
 順延になった場合参加が難しい・・・・・・25
 開催か中止のどちらかにする・・・・・・16

■全体の進行時間



適当・・・・・・・・・・・・・41
 長い・・・・・・・・・・・・・10
 短い・・・・・・・・・・・・・0

(1ページから)
今後とも「障害福祉の未来を考
える集い」に皆様のご協力をお頼
み申し上げます。



新設作業所紹介

こんにちは。
ペパーランド・コミュニティ

かれんです。

昨年の8月(2018年)に開
所した生活介護事業所です。私た
ちの事業所は二つあり、一つはコ
ミュニティかれんです。大倉山か
ら歩いて10分くらい、大豆戸町
の住宅街にあるコミュニティかれ
んは、気軽に立ち寄れるコーヒー
ラウンジです。周りには緑も多く
明るい室内が自慢です。利用者さ
んはカフェの接客や絵画、小物作
りなどをしています。最近ではダン
ボールをくるくる丸めて猫の爪と
ぎを作ったり、得意なイラストを
プラ板にして小物を作ったりして
います。コミュニティかれんに通
所する前は、「絵は苦手です…」と
不安のあった方もなんとなく自然
に描いていらつしやる人が多い
です。

余暇活動も色々検討中です。6
月は福祉バスをお借りできたので
ペパーランドかれんと一緒に横須
賀までレクリエーションに行つて
きます。みんなでリフレッシュで
きると思います。
もう一つの事業所は大倉山から
鶴見方面に10分くらい歩いたと
ころ、師岡町にあるペパーラン
ドかれんです。ここではプラン



ターで野菜作り、収穫をして食
事で使用したり、調理のための
お買い物や準備、盛り付け、後
片付けなど身の周りのことをし
ています。糸を巻き付けたハン
ガー制作が好評です。社会福祉
法人かれんの別の事業所で作ら
れた美味しいパンを、町の会館
で定期的に販売しています。
まだまだ成長途中ですが、利
用者さんが安心して通える事業
所を目指し日々活動しています。
皆さま、ペパーランド・コミュ
ニティかれんをよろしく願いま
したします。

横浜社会福祉法人 横浜共生会
ばんぱかパン(港北区)は、

しんよこはま地域活動ホームバツ
クアップのもと平成30年3月
30日に新吉田東に開所しました。
東急東横線綱島駅と横浜市営地
下鉄ブルーライン新羽駅のちよう
ど中間の住宅街にあります。

ばんぱかパンというユニークな
名前は、医療的ケアのある方を含
めた重度心身障がいの方々が働く
場や活動の場の開設を望まれてい
たことへの「お待たせしました！」
という想いや、お子さんからご年
配の方まで誰にでも覚えやすく親
しみやすい名前という意味が込め
られています。

開所時は10名のメンバーを迎
え、新しい環境に戸惑いながらも
主な活動となるパン販売・喫茶店
営業に向けて準備を進めていき、
その年のゴールデンウィーク明け
よりパン販売を開始しました。

はじめは不慣れな環境で、はじ
めて仕事をするメンバーも多く試
行錯誤の日々でした。

その中で、外へ出での呼び込みや宣伝活動、新作のパンを定期的に販売するなど努力を重ね、徐々にお客さんも増えていき、パンが完売する日も増えていきました。地域の方からも「皆さんが作ったパン美味しいですね。」「これからも頑張つて下さいね。」などのお言葉を頂くようになりました。

ぱんぱかパンの良さは、メンバー全員が明るく元気いっぱいなこととです。

また、メンバー同士がお互いを思いやりながら、パンの作製はもちろん、接客業務や原材料シール貼りなど作業もメンバー中心に行っています。

現在は12名のメンバーと共に、パン販売を毎週 月・水・金の10時から16時まで営業しています。また、クッキーや各種ドリンクの販売も行っています。

今後は、地域の方々へお貸しするスペースの開設や他作業所などと協力して各々の自主製品を販売するスペースの開設も検討していきます。

これからも地域に愛される作業所を目指して頑張っていきます。

ぜひ一度ぱんぱかパンへお越し下さい。笑顔でお待ちしております。



東日本大震災 災害掲示板⑱

災害シンポジウム報告

去る2019年1月22日、横浜市健康福祉総合センター4階ホ

ールにて、災害シンポジウム「障害者支援をとおして被災地の現状と課題を知る」災害時に備えた地域での取り組み」が開かれました。

ゆめがぜ基金の八幡さんによる被災地支援から見えてきたもの、川島第四町内会と保土ヶ谷区自立支援協議会防災部会の取り組み、横浜市の考え、いつもながら気持ちにつながる話が多く聞かれました。個人的には八幡さんからいわれた「事業所は発災後3時間から24時間以内に受け入れを始めなければならぬ。そのためにはBCP(事業継続計画)が絶対必要だ。平時から普段通っている障害のある方の個別の避難計画を立てなければならぬ。」という言葉に、なんとなく個人としてはやらなければと思っていたことをズドンといわれ背筋がピンとしました。障害のある方も(こそ)地域の避難所で受け入れなければという力強い言葉、障害があるから・障害がある方の家族であるという理由から訓練で嫌な思いをされた方の体験、実際の災害において二次避難場所という概念は現実的でない国もそのモデルを明確には勧め

ていないという事実、全ては矛盾しているようでその矛盾こそが現実で私たちはその現実の中でどう仕事をしていくべきか。

いいシンポジウムだったと自賛します。同時に宿題の多い会でもありました。

TEAM3事務局

みどり福祉ホーム 荒木 傑

2019年度事業計画

■基本方針

被災した障がい関係事業所へ直接支援金を送ることを継続しつつ、被災地域の現状や支援金の使用状況を訪問し調査等に加え、横浜でのシンポジウムの開催を行います。被災地の障がいのある方との息長かつながり、横浜に大規模災害が起こった際、障がいがある方の命を守るためにはどんな取り組みが必要かを考え続けます。

■被災した障がい福祉関係事業所への支援

つながりのある被災した障がい福祉関係事業所への支援に加え、被災地調査等の新しい情報収集の中から、切実に支援を必要としている障がい福祉関係事業所にも支

援を行いたいと思っています。

資金集めは、今までと同様に、横浜市障害者地域作業所連絡会の事務局を窓口の皆様からの寄付を募ります。

また、仕事づくりに関しても、障害福祉の未来を考える集いに向けての缶バッジ作成や、横浜市内で物品販売を行っている事業所の紹介など継続します。

■支援先の現状・復興状況等の調査と、復興支援を目的としたシンポジウムの開催

今年度も、調査員を被災地に派遣し、支援金がどのように役立っているか、今後どのような支援が必要かお話しを聞かせてもらいます。支援金を頂いた方々への報告を行います。

また、今までの活動報告や、被災地の現状を伝えるシンポジウムを他団体と協力し企画・開催し、多くの方々に横浜に大規模災害が起った際、障がいがある方の命を守るためにはどんな取り組みが必要か提言することを目指します。

■広報活動

今年度も、チラシの作製、横浜市障害者地域作業所連絡会の機関

紙「兎と亀」での報告、ブログの更新を定期的に行う予定です。

実績報告、計画の詳細は、ブログにもUPしてありますので、あわせてご覧下さい。

パソコン、スマホひらいて「TEAM3」で検索!

日頃より、活動に賛同して下さり、多大なご協力のほど感謝申し上げます。TEAM3の活動は災害時被災者支援です。

TEAM3は災害時障害者支援計画として今後も息の長い活動を行っていきます。

※詳しくはチラシ、もしくはPCで「TEAM3」と検索し、ブログをご覧ください。

市作連 事業報告

2018年度

11・12 役員会

「障害福祉の未来を考える集い」について

11・20 定例会

法定事業移行支援事業(借地

借家費)に関する進捗報告

12・8

「障害福祉の未来を考える集い」

1・15 「地域作業所手作り製品フェア」

2・17 有隣堂戸塚モディ店 市精連共催

2・14 「横浜市2019年度障害福祉

関係予算説明会」

2019年度

4・15 役員会

5・16 役員会

5・28 定期総会

2018年度事業・会計報告

2019年度事業計画・予算

各区ブロック会議

6・1 テーマ「当事者・家族・支援者

が今求めていること」

6月下旬 研究部会

ブロック会議とめと要望書案作成

7・7 「兎と亀」号発行

7・18 役員会

7・23 定例会

研修会「運営状況実態調査」

集計結果の経過報告

7・31 「地域活動支援センター

作業所型・活動ホームの

充実と障害のある方の暮

らしの充実に関する要望

書」提出・懇談会

8・21 「ふれあい作品展」高島屋

8・26

編集後記

はじめまして。NPO法人みど

り福祉ホームの伊東と申します。

第99号より編集に携わっており

ます。今年度より市作連の役員会

にも参加させて頂き、長く横浜の

福祉に携わっている諸先輩方のお

話しを勉強しながらも今後の福祉

についての考えを巡らせる毎日で

す。来年にはオリンピック控え、

職場や家庭でもオリンピック・パ

ラリンピックの話題がちらほらと

挙がってきました。絶対に会場に

足を運びたいと言う人、テレビで

見られるからいいと言う人、まっ

たく興味がないなんて人もいて、

かくいう私は2歳の息子の為に間

近で見せてあげたい人です。次号

が100号という節目を前に緊張

感のない編集後記ですが、今後も

宜しくお願い致します。

(新しい編集者も入り、いよいよ次は100号です。乞うご期待!)

発行人 神奈川県障害者定期刊行物協会

〒221-0005 横浜市港北区鳥山町一七五二

障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階

〒231-0002 横浜市中区桜木町一〇一五六

クリーンセンタービル5階 市民活動共同オフィス内

電話 〇四五(六六三)〇四五二

FAX 〇四五(六六三)〇四五三

編集責任者 谷口実

定価 一五〇円